市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう（志和町編）」作品展について

広大マスターズ会員　難波平人

市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう（志和町編）」（講師：難波平人）を昨年9月３日（火）より４回にわたり開催し、受講生３９名は志和町の時報塔のあたりと民家と山を各自２点画きました。

その成果の発表展として、広島大学マスターズ主催で令和２年１月１５日（水）～２０日（月）：「くらら」（市民ギャラリー）で開催し、水彩、アクリル、油絵など計３９点の力作を展示しました。

作品展会場

批評会を終えて（志和町）

初日の開会式では東広島市教育長の津森　毅先生、広島大学マスターズ代表幹事の渡部和彦先生、東広島市観光協会専務理事の上向　隆様にご挨拶を戴きました。

また、東広島カモンケーブルテレビが「描いてみよう絵画入門」と題して難波が制作する様子を収録・放映した録画を展示会場で放映したところ、「製作の要領や技法が参考になった」と好評でした。

それに受講生からは「志和町の豊かな自然を描くことで、その魅力を知ることができた」と喜びの声を聞くことができました。

なお、「作品展」への入場者は７５８名でした。